

2024年11月25日

阪急阪神不動産株式会社
株式会社阪急阪神ハウジングサポート

**2023年以降に竣工するすべての新築分譲マンションにて
2024年12月より入居者さま向け防災イベントを実施します
～マンションの防災力とコミュニティ醸成を強化していきます～**

阪急阪神不動産株式会社と株式会社阪急阪神ハウジングサポートでは、阪急阪神不動産が開発し、2023年以降に竣工するすべての新築分譲マンション※1〈ジオ〉において、12月より入居者さま向けに防災イベントを実施します。防災備蓄倉庫・備品の見学や防災備品の組み立て体験、専門家によるワークショップなどを行うことで、マンション防災や共助の大切さを実感する機会を提供していきます。

阪急阪神不動産では、2011年の東日本大震災を機に「日頃の備え」や何かあった時に助け合える「ご近所付き合い」の大切さを再認識し、マンション内におけるコミュニティの在り方や防災対策について見つめ直し、大規模マンションを中心に防災セミナーや入居者交流会を実施してきました。

近年は地震のみならず風水害の被害も増加しており、災害への関心がより一層高まっています。そのような状況を踏まえ、ジオの入居者さまにより安心してお住まいいただけるよう、「有事の際に助け合えるコミュニティ醸成」の場として一部物件において防災イベントをトライアルで実施しました。これにより防災知識の習得や共助への理解促進が図られたことから、今般の導入に至りました。

※1 阪急阪神ハウジングサポートが管理する物件に限る。また、他社との共同事業など一部の物件を除く。

■実施内容

・マンションの防災備蓄倉庫、防災備品についての見学

普段見ることができない防災備蓄倉庫や防災備品の内容を確認し、実際に防災備品に触れていただきます。

・備品の組み立て体験

マンホールトイレや照明器具などの組み立てを体験していただきます。

・防災ワークショップの実施

専門家からのハザードマップに関するご説明のほか、防災備品を活用した火起こしや簡単な調理例（レシピ）のご紹介、身近な材料を使用した防災グッズづくりなどを体験していただきます※2。

※2 内容は物件ごとに異なる場合があります。



防災備蓄倉庫内の様子

両社では、今後も引き続き多くの皆さまに安心・快適な暮らしを提供できるよう努めていきます。

以上

【添付資料】 トライアル実施内容について

【参考】防災イベント（トライアル）実施内容について

■防災イベント（トライアル）開催概要

日 時：2024年5月18日（土）10～12時

実施物件：ジオ茨木中穂積（防災イベントは近隣施設にて実施）

内 容：・設備見学（スライド投影）

・備品の組み立て体験

・防災ワークショップ

■本イベント開催の意義

マンションの防災設備への理解促進に加え、参加者同士によるワークショップを通じた交流により、コミュニティ醸成および共助の大切さへの理解を深めていただく。

■実施内容の詳細

設備見学

防災備蓄倉庫や AED 設置箇所の写真を投影して入居者さまに説明しました。また実際に設置している防災備品の内容や用途を紹介しました。



防災備品の紹介

備品の組み立て体験

マンホールトイレや照明器具を実際に組み立て、有事の際にスムーズに使用できるように備えました。



マンホールトイレ・照明器具の組み立て体験

防災ワークショップ

地域防災の専門家によるハザードマップを活用した防災基礎知識のレクチャーを実施しました。また日頃から家族や入居者さま同士でできる防災対策についてグループで話し合い、最後に全体で発表することで学びを深めました。



専門家による防災基礎知識のレクチャー

■参加者のコメント

- ・マンションの防災設備を知ることができて良かった。
- ・備品の組み立て体験が良かった。実際の経験の有無で有事の際の対応に違いが出ると思う。
- ・メンバーを変えながらのワークショップで、色々な方と仲良くなることができた。
- ・お互いに知り合いをつくるのが大事だと思った。
- ・詳しい内容や重要なことを、今回参加できなかった方にも伝達できれば良いと思う。